

がっこうきゅうしょくおうえんだん 学校給食応援団だより



がっこうきゅうしょくおうえんだんは、みんなが食べている給食のために、野菜や果物を育てて運んでくれる農家のグループのことで、佐久・臼田・浅科・望月に4つの応援団があって、100人近くの団員の皆さんが活動しています。安心、安全な野菜や果物を育てながら、もっとおいしくするための勉強をしたり、学校を訪問してみんなと学校給食と一緒に食べたりいろいろな活動をしています。応援団の皆さんが育てた野菜や果物を食べて、元気に学校生活を過ごしましょう！

がっこう みんな おうえんだんいん いっしょ きゅうしょく た こうりゆうきゅうしょくかい
学校の皆さんと応援団員と一緒に給食を食べました！ ～交流給食会～

それぞれの学校が応援団員を招待して、学校給食をみんなで食べました。一緒に給食を食べる中で学校の皆さんは、農家になったきっかけや野菜を育てるコツなど、いろいろな質問をしていました。応援団員も学校の皆さんといろいろな話ができて、とても楽しい交流給食会になりました！

あさしなしょうがっこう ～浅科小学校～



～交流給食会の感想～
ぼくは、きゅうしょくおうえんだんのひとときゅうしょくをたべました。ぼくは、おうえんだんのひとにとうもろこしのそだてかたをききました。とてもたのしかったです。
あさしなしょうがっこう 1年 佐藤 優心 さん

～交流給食会をふりかえって～
交流給食会は、どんな野菜を作っているか、野菜作りで苦労することは何かなど質問を受けたり、子どもたちの感想を聞く場にもなっています。これからも季節の野菜や果物を提供し、農業に関する理解も深めてもらえればと思います。
あさしながっこうきゅうしょくおうえんだん さとう としゆき
浅科学校給食応援団 佐藤 敏行 さん





～交流給食会の感想～

わたしのクラスに来た学校給食応援団の方は、じゃがいもを作っていると話してくれました。お話をして、給食がいつもよりおいしく感じました。これからも学校給食応援団の人の顔を思い浮かべながら、給食を残さず食べたいです。

もちづきしょうがっこう 望月小学校 5年 田中 葉菜 さん

～交流給食会をふりかえて～

5年生の給食へのお招きありがとうございます。皆さんとおいしいお昼ごはんを食べ、楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。この給食に少しでも貢献できるように僕たちもがんばりますね。

もちづきがっこうきゅうしょくおうえんだん 望月学校給食応援団 竹花 健司 さん



あさしなちゅうがっこう

～浅科中学校～

～交流給食会の感想～

日頃、僕らのために新鮮な野菜を心をこめて作ってもらっていることが分かりました。これからも感謝して味わって給食をいただきたいです。

あさしなちゅうがっこう 浅科中学校 2年 小林 満生 さん



～交流給食会をふりかえて～

一緒に給食を食べた生徒からは、「農家になったきっかけ」や、「農家をやっていてつらいこと」など、農家の仕事についての具体的な質問を受けました。子どもたちの将来を見すえた話を聞くことができ、うれしかったです。

あさしながっこうきゅうしょくおうえんだん 浅科学校給食応援団 掛川 正幸 さん



がっこうきゅうしょく おもいで
★学校給食の思い出★



えいようし 栄養士
おざはら まゆみ 先生
荻原 真由美 先生

(学校給食南部センター)

学校給食の思い出といえば、私の住んでいた小諸市では、私が中学2年生の時に米飯給食が始まったということです。それまでは、主食といえばパンかソフト麺だけでした。それが、月に2回でしたが、ごはんが出てくるようになりました。

給食でごはんが食べられることはとてもうれしかったのですが、ただ残念だったのは、常に月2回のごはん給食のうち1回は「ごはん・カレー・袋入りのつけもの・牛乳」、そしてもう1回は「ごはん・具だくさんの汁・袋入りのふりかけ・牛乳」という献立だったことです。

その時は子ども心に、「カレーの時はいいんだけどな…」とっていました。

今思うと、その頃は今とは違いごはん用の食器もなく、調理に使う機械類も種類がなかったのだと思います。その中で精一杯の献立だったのかなと思います。今ではとても懐かしい思い出です。